

平成 19 年 9 月 20 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
三 菱 U F J ニ コ ス 株 式 会 社

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループによる三菱 UFJ ニコス株式会社の 第三者割当増資の引受および両社間の株式交換等について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 ^{くろやなぎ のぶお} 畔柳 信雄、以下 MUFG）と三菱 UFJ ニコス株式会社（代表取締役社長 ^{おおもり かずひろ} 大森 一廣）は、本日開催のそれぞれの取締役会において、三菱 UFJ ニコスが行う第三者割当増資を MUFG が全額引き受けることを決議いたしました。また、MUFG および三菱 UFJ ニコスは、三菱 UFJ ニコスの株主総会の承認を前提として、MUFG が株式交換により三菱 UFJ ニコスを完全子会社とすることについて方針決定し、具体的検討を開始すべく以下のとおり合意いたしました。

1. 目的

三菱 UFJ ニコスは、昨今の環境激変を踏まえつつ、クレジットカード市場の新たな発展を見据え、本日、①利息返還請求の増加や総量規制の影響による将来リスクに備えて引当てを強化し、②従来の中期経営計画を上回る構造改革を断行し、③クレジットカード市場における圧倒的なプレゼンテージ確保をめざすことを内容とする、新中期経営計画を公表しました。

これを踏まえ、MUFG および三菱 UFJ ニコスは以下の 4 点を目的に、三菱 UFJ ニコスが実施する 1,200 億円の第三者割当増資について MUFG が全額を引き受けること、また、別途合意予定の株式交換契約に定めるところに従い、株式交換の方法により、三菱 UFJ ニコスが上場廃止のうえ MUFG の完全子会社となる方針に関し、基本合意いたしました。

- ① 三菱 UFJ ニコスの財務基盤を磐石なものとすること
- ② 三菱 UFJ ニコスを含めた MUFG グループの戦略的一体性・機動性をさらに高め、グループ内の経営資源の有効活用を図ること
- ③ 銀行・信託・証券と並ぶ、MUFG グループ中核事業体としての三菱 UFJ ニコスの位置づけを明確化すること
- ④ 三菱 UFJ ニコスの営むカード事業を MUFG のコンシューマーファイナンス事業における戦略的分野として、一層強化、育成すること

併せて、三菱 UFJ ニコスは、平成 20 年 3 月期に見込まれる欠損金の補填とその後の機動的かつ適切な資本政策の運営を実現するため、この第三者割当増資と同時に当該払込金額の「その他資本剰余金」への振替（株式発行と同時の資本金の額および資本準備金の額の減少）を決議いたしました。

また、本日、別途「農林中央金庫と三菱 UFJ ニコス株式会社の資本提携関係の維持・発展について」でお知らせしておりますとおり、農林中央金庫と三菱 UFJ ニコスの資本・業務提携もさらに維持・発展させていく方向で協議してまいります。

これらにより、MUFG ならびに「新生・三菱 UFJ ニコス」は、従来とは異なる次元の戦略展開、サービス提供を通じて、お客さま、株主の皆さま、ひいては社会からのご要請にお応えしていただけるものと確信しております。

2. MUFG による三菱 UFJ ニコスの第三者割当増資の引受

(1) 調達する資金の額および用途

① 調達する資金の額（差引手取概算額）

1,197 億円

② 調達する資金の具体的な用途

本件第三者割当増資による調達資金は、(a)業績回復に向けた構造改革資金として 750 億円、(b)新カード戦略投資資金として 200 億円、および(c)システム投資資金等として 247 億円に充当する予定です。

③ 調達する資金の支出予定時期

本日別途公表しております「新中期経営計画」期間中（平成 20 年 3 月期から平成 23 年 3 月期まで）に、新中期経営計画に従って、使用することを予定しています。

④ 調達する資金用途の合理性に関する考え方

業績回復に向けた構造改革資金、新カード戦略投資資金、およびシステム投資資金等に対応する資金調達を行うことで、財務基盤を磐石にし、MUFG グループ中核事業体として MUFG グループとの戦略的一体性・機動性をさらに高め、三菱 UFJ ニコスの営むカード事業をより一層強化、育成するものであり、経営上合理的なものであると考えております。

(2) 三菱 UFJ ニコスの最近 3 年間の業績およびエクイティ・ファイナンスの状況

① 最近 3 年間の業績（連結）（単位：百万円）

決 算 期	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
取 扱 高	3,708,343	4,891,424	5,883,137
営 業 収 益	277,307	320,876	367,614
経 常 利 益	33,227	61,292	20,313
当 期 純 利 益	5,719	19,622	△52,169
1 株当たり当期純利益（円）	11.67	31.66	△57.71
1 株当たり普通株式配当金（円）	2.00	4.00	0.00
1 株当たり純資産（円）	△233.48	120.72	57.91

② 現時点における発行済株式数および潜在株式数の状況（平成19年9月19日現在）

種 類	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	1,022,924,559 株	100.0%
現時点における転換価額（行使価額） に お け る 潜 在 株 式 数	164,419,598 株	16.1%
上限値の転換価額（行使価額） に お け る 潜 在 株 式 数	164,419,598 株	16.1%
下限値の転換価額（行使価額） に お け る 潜 在 株 式 数	234,885,141 株	23.0%

③ 最近の株価の状況

(i) 最近3年間の状況

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
始 値	425 円	490 円	1,235 円
高 値	516 円	1,585 円	1,240 円
安 値	302 円	442 円	330 円
終 値	490 円	1,245 円	406 円

(ii) 最近6か月間の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
始 値	415 円	303 円	395 円	360 円	324 円	312 円
高 値	422 円	407 円	402 円	361 円	363 円	322 円
安 値	303 円	303 円	351 円	308 円	306 円	264 円
終 値	304 円	393 円	361 円	323 円	313 円	276 円

なお、9月については、9月19日までの数値です。

(iii) 発行決議前日における株価

	平成19年9月19日現在
始 値	270 円
高 値	278 円
安 値	270 円
終 値	276 円

④ 第三者割当増資

発 行 期 日	平成19年11月6日
調 達 資 金 の 額	120,000,000,000 円
募集時点における発行済株式数	1,022,924,559 株
当該増資による発行株式数	400,000,000 株
募集後における発行済株式総数	1,422,924,559 株
割 当 先	株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

- ⑤ 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況
該当事項はありません。

(3) 三菱UFJニコスの大株主および持株比率（発行済株式総数に対する出資割合）

募集前（平成19年3月31日現在）		募集後	
株式会社三菱東京UFJ銀行	65.44%	株式会社三菱東京UFJ銀行	47.04%
アコム株式会社	2.34%	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ	28.11%
日本生命保険相互会社	1.48%	アコム株式会社	1.68%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1.22%	日本生命保険相互会社	1.06%
農林中央金庫	0.88%	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	0.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	0.84%	農林中央金庫	0.64%
日本証券金融株式会社	0.68%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	0.60%
バンクオブニューヨーク&シーエムクライアントアカウントイーアイエスジー	0.65%	日本証券金融株式会社	0.49%
太陽生命保険株式会社	0.49%	バンクオブニューヨーク&シーエムクライアントアカウントイーアイエスジー	0.46%
エムエルピーエフエスアドバイザー	0.48%	太陽生命保険株式会社	0.35%

（注）大株主および持株比率は、平成19年3月31日現在の株主名簿を基準に同年4月1日付けの合併に伴う新株発行を考慮して作成しております。

(4) 三菱UFJニコスの業績への影響の見通し

本日「平成20年3月期（連結・個別）業績予想、配当予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」において発表しました三菱UFJニコスの今期業績見通しの修正に、本件第三者割当増資による影響は含まれております。

(5) 発行条件等の合理性

① 発行価額の算定根拠

本件第三者割当増資に係る三菱 UFJ ニコスの取締役会決議の直近取引日までの直近3ヶ月(平成19年6月20日から平成19年9月19日まで)に株式会社東京証券取引所が公表した三菱 UFJ ニコスの普通株式の終値の平均値328.9円に91.2%を乗じた300円といたしました。

三菱 UFJ ニコスの普通株式の株価が株式市場の一時的な相場変動の影響を受ける可能性のある取締役会決議日の前取引日の終値276円ではなく、取締役会決議の前日からさかのぼること3ヶ月の株式会社東京証券取引所における三菱 UFJ ニコスの普通株式の終値の平均値を参考とすることが合理的と考え、発行価額を算出いたしました。

ディスカウント率については、現在の株式市場の状況、今回の第三者割当増資の必要性、今回の増資規模等を総合的に勘案して、合理的であると考えております。

② 発行数量および株式の希薄の規模が合理的であると判断した根拠

本件第三者割当増資による新株発行により、現在の発行済株式数に対して39.1%の希薄化が生じます。しかしながら、前掲のとおり、環境が激変する中で構造改革を断行し、かつ今後の成長戦略に必要な財務基盤を磐石にして、MUFGグループ中核事業体として戦略的一体性・機動性をさらに高めていくために、必要かつ合理的な資金調達であると判断しております。

(6) 割当先の選定理由

① 割当先を選定した理由

今回公表させて頂いたとおり、三菱 UFJ ニコスは MUFG の完全子会社となることで基本合意しております。今回の資本調達の必要性、金額の規模等を勘案して、発行額の全額を MUFG で引き受けることで、合意に至りました。

② 割当先の保有方針

MUFG は、下記4.記載のとおり、三菱 UFJ ニコスを完全子会社化し、中長期的に保有する方針です。なお、三菱 UFJ ニコスは、MUFG より、発行日から2年間新株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を三菱 UFJ ニコスに書面にて通知する旨の確約書を得る予定です。

3. 三菱 UFJ ニコスの「その他資本剰余金」の増加（株式発行と同時の資本金の額および資本準備金の額の減少）

(1) 第三者割当増資と同時の資本金の額および資本準備金の額の減少の要領

① 減少すべき資本金の額

600 億円。

なお、本件第三者割当増資による資本金の増額と同時に資本金の額を減少いたしますので、資本金の額の減少の効力発生日後の資本金の額が同日前の資本金の額を下回ることはありません。

② 減少すべき資本準備金の額

600 億円。

なお、本件第三者割当増資による資本準備金の増額と同時に資本準備金の額を減少いたしますので、資本準備金の額の減少の効力発生日後の資本準備金の額が同日前の資本準備金の額を下回ることはありません。

③ 資本金の額および資本準備金の額の減少の方法

会社法第 447 条第 3 項に基づく株式発行と同時の資本金の額の減少の手続きおよび同法第 448 条第 3 項に基づく株式発行と同時の資本準備金の額の減少の手続きによることとします。

(2) 本件第三者割当増資と同時の資本金の額および資本準備金の額の減少の日程（予定）

決議日（取締役会による決定）	平成 19 年 9 月 20 日（木）
法定公告掲載日	平成 19 年 10 月 1 日（月）
債権者異議申述最終期日	平成 19 年 11 月 1 日（木）
効力発生日	平成 19 年 11 月 6 日（火）

(3) 今後の見通し

資本金の額および資本準備金の額の減少は、純資産の部における資本金および資本準備金をその他資本剰余金の勘定とする振替処理であり、三菱 UFJ ニコスの純資産額の変動はなく、また業績に与える影響はありません。今後ともバランスシートの健全化を図り、企業価値向上に向けた取組みを推進してまいります。

4. MUFG と三菱 UFJ ニコス間の株式交換

MUFG と三菱 UFJ ニコスによる株式交換については、別途合意予定の株式交換契約に従い実行されるものとし、本日基本合意に至った事項は以下のとおりです（なお、三菱 UFJ ニコスが営む個品割賦事業を会社分割および株式譲渡等の方法により株式会社ジャックスその他の第三者に対して承継させていることその他 MUFG と三菱 UFJ ニコスの合意する事項が、その前提条件となっています）。

(1) 株式交換の要旨

① 日程

平成 19 年 9 月 20 日	基本合意書締結
平成 20 年 5 月下旬（予定）	株式交換契約書承認取締役会
平成 20 年 5 月下旬（予定）	株式交換契約書の締結
平成 20 年 6 月下旬（予定）	株式交換契約書承認株主総会（種類株主総会を含む） （必要があれば）
平成 20 年 8 月 1 日（予定）	株式交換の効力発生日

② 株式交換比率

株式交換比率については、合理的な手法による評価を勘案し、外部機関の評価も踏まえて、今後協議の上、決定します。

(2) 株式交換後の状況

完全子会社化による、両社の商号、事業内容、本店所在地、代表者および資本金等に変更の予定はございません。

以 上

<当事会社の概要>

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

	完全親会社 (割当先) (予定)	完全子会社 (予定)
商号	株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ	三菱 UFJ ニコス株式会社 (注 1)
主な事業の内容	銀行持株会社	クレジットカード事業
設立年月日	平成 13 年 4 月 2 日	昭和 26 年 6 月 7 日
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目 7 号 1 番	東京都文京区本郷三丁目 33 号 5 番
代表者	取締役社長 畔柳 信雄	代表取締役社長 大森 一廣
資本金	1 兆 3,830 億円	1,017 億円 (注 2)
発行済株式総数	普通株式 10,861,643.79 種類株式 151,401	普通株式 905,399,559 (注 2) 種類株式 50,000,000
株主資本 (連結)	10 兆 5,237 億円	1,062 億円
総資産 (連結)	187 兆 2,810 億円	3 兆 8,750 億円
決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
従業員数 (連結)	78,282 名	5,588 名 (注 3)
大株主および持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口) (4.17%) 日本マスタートラスト信託銀行 (信託口) (3.78%) ヒーロー・アンド・カンパニー (3.20%) 日本生命保険 (2.50%) 日本マスタートラスト信託銀行 (明治安田生命保険・退職口) (1.61%) ザチェスマンハットンバンクエヌエイロンドン (1.60%) 日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口 4) (1.53%) ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103 (1.47%) 明治安田生命保険 (1.26%) ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (1.24%)	三菱東京 UFJ 銀行 (68.89%) 日本生命保険 (1.67%) 日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口) (1.38%) 農林中央金庫 (1.00%) 日本マスタートラスト信託銀行 (信託口) (0.95%) 日本証券金融 (0.77%) バンクオブニューヨークジーシーエムクライアントアカウンツイ -アイエスジー (0.73%) 太陽生命保険 (0.55%) エムエルピーエフエスカストディー (0.54%) 日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口 4) (0.50%)
当事会社の関係	三菱 UFJ ニコスは MUFG の連結子会社です。	

(注1) 平成 19 年 4 月 1 日現在の商号を記載しています。

(注2) 平成 19 年 4 月 1 日に株式会社ディーシーカードと合併したことに伴い、資本金は 76 億円、普通株式は 117,525,000 株増加しています。

(注3) 平成 19 年 4 月 1 日に合併した株式会社ディーシーカードの平成 19 年 3 月 31 日現在の従業員数は 1,023 名です。

<過去3年間の業績推移>

(連結ベース/単位：億円)

決算期	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ		
	17年3月期	18年3月期	19年3月期
経常収益	26,285	42,939	60,940
経常利益	5,932	10,780	14,570
当期純利益	3,384	7,707	8,809
1株当り当期純利益	51,086.02円	93,263.15円	86,795.07円
1株当り年間配当金：普通株式	6,000.00円	7,000.00円	11,000.00円
1株当り株主資本	673,512.65円	692,792.38円	801,320.41円

(連結ベース/単位：億円)

決算期	三菱UFJニコス株式会社		
	17年3月期	18年3月期	19年3月期
営業収益	2,773	3,208	3,676
経常利益	332	612	203
当期純利益	57	196	△521
1株当り当期純利益	11.67円	31.66円	△57.71円
1株当り年間配当金：普通株式	2.00円	4.00円	0.00円
1株当り株主資本	△233.48円	120.72円	57.91円

(注) 平成19年3月期業績には、平成19年4月1日に合併した株式会社ディーシーカードの業績は含んでおりません。

<発行要領>

- ① 発行新株式数
400,000,000 株
- ② 発行価額
1 株につき 300 円
- ③ 発行価額の総額
1,200 億円
- ④ 資本組入額
増加する資本金の額 600 億円
増加する資本準備金の額 600 億円
- ⑤ 募集又は割当方法
第三者割当
- ⑥ 申込期間
平成 19 年 11 月 6 日
- ⑦ 払込期日
平成 19 年 11 月 6 日
- ⑧ 新株券交付日
株券は交付しない。
- ⑨ 申込株数単位
1,000 株
- ⑩ 申込証拠金
該当事項なし。